

壁寄せテレビローボード RWB-S150A-O/W

- このたびはレグザ純正壁寄せテレビローボードをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お求めの壁寄せテレビローボードを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、必要な時に使えるよう大切に保管してください。
- 商品仕様の詳細および対応機種についてはレグザホームページのオプションでご覧ください。
<https://www.toshiba.co.jp/regza/> ※アドレスは予告なく変更される場合があります。

安全上のご注意

- 取扱説明書には、お使いになるかたや他のひとへの危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
- 次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表示	表示の意味
	“ 警告 ”は、 ^{*1} 取扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷を負うことが想定されることを示します。
	“ 注意 ”は、 ^{*2} 取扱いを誤った場合、人が傷害を負うことが想定されるか、または ^{*3} 物的損害の発生が想定されることを示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
 *2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
 *3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号	図記号の意味
	“ 禁止 ”は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	“ 指示 ”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	“ 注意 ”は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■免責事項について

- 火災、地震などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない機器との組合せによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取付不備によって発生した損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 壁面近くにテレビを設置して長期間視聴すると、壁面が変色したりよごれたりすることがありますのでご了承ください。

◆壁寄せテレビローボードを使用するお客様へ

警告

- 取付状況を月に一度程度点検し、ネジのゆるみなどによる傾き・ぐらつきなどの異常がないか確認する
 異常のまま使用すると、テレビが落下し、けがやテレビ・床などの破損の原因となります。異常の場合は、お買い上げの販売店にお問合せ願います。
- 壁寄せテレビローボードおよびテレビの修理・分解・改造はしない
 テレビ内部には、電圧の高い部分があり、感電、火災の原因となります。
 分解禁止

- 壁寄せテレビローボードの耐荷重より重いテレビを取り付けない
 倒れたり、テレビが外れて落下したりしてけがやテレビ・床などの破損の原因となります。
 禁止
- テレビや壁寄せテレビローボードにぶら下ったり、上に乗ったり、寄りかかったりしない
 落ちたり、倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。
 禁止

- テレビの下にはいり込まない
 テレビの下で立ち上がったたりして、テレビ、スピーカーに頭や顔をぶつけないように、ご注意ください。
 禁止
- 電源コードや配線類をテレビや金具ではさみこまない
 電源コードに傷がつき、火災・感電の原因となります。設置時の配線および設置後の配線変更は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
 禁止

◆取付工事をされるかたへ

警告

- 組立て手順に従って、しっかり取り付ける
 ネジがゆるんでいたり抜けていると、壁寄せテレビローボードが転倒したりテレビが落下して、大けがや破損の原因となることがあります。
 指示
- テレビの設置時は、二人以上で、安全を確認しながら実施する
 無理な作業をすると、テレビが落下し、けがやテレビ・床などの破損の原因となります。
 指示

- 転倒防止の処置をする
 転倒防止の処置をしないと、壁寄せテレビローボードが転倒したり、テレビが落下して、けがの原因となることがあります。壁寄せテレビローボードと壁などをつないで転倒防止の処置を行ってください。
 指示

- 傾いた所や、不安定な場所に設置しない。平坦でテレビと壁寄せテレビローボードの重量に耐えられる床面に設置する
 転倒し、けがの原因となります。堅い平坦なところにすてつけてください。畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など堅いものを敷いてください。
 禁止

- 振動のある場所に設置しない
 振動でテレビが落下し、けがの原因となります。
 振動禁止

- 東芝テレビ専用です。他の用途には使用しない
 けがや事故の原因となります。
 禁止

注意

- テレビの通風孔をふさがない
 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
 禁止
 - 本体の上下左右は10cm程度の間隔をあけてください。
 - 風通しの悪い所に設置しないでください。
 - カーテンなどがかかる場所に設置しないでください。
- 可動部の隙間に手や指を入れない
 けがの原因となることがあります。
 禁止

- 温度の高い場所に設置しない
 直射日光の当たる場所、ストーブやエアコン吹出口のそばなど、温度の高い場所に設置すると、火災の原因となることがあります。また、キャビネットの変形や液晶画面の変色・破損、その他部品の劣化や破損によって感電の原因となることがあります。
 禁止
- 壁寄せテレビローボードにテレビを取り付け・取りはずすときに手をはさまない
 けがの原因となることがあります。
 指示
- 湿気・油煙・ほこりの多い場所に設置しない
 テレビを加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに設置すると、火災・感電の原因となることがあります。
 禁止

商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

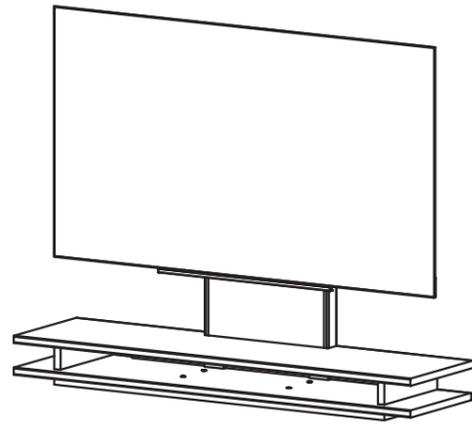
お買い上げの販売店または、「東芝テレビご相談センター」(右記)にご相談下さい。

「東芝テレビご相談センター」 【一般回線・PHSからのご利用は】(通話料：無料) フリーダイヤル 0120-97-9674 ●IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、03-6830-1048 (通話料：有料)	【携帯電話からのご利用は】(通話料：有料) 0570-05-5100 【FAXからのご利用は】(通信料：有料) 03-3258-0470	・お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。 ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連各社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。
---	---	--

東芝映像ソリューション株式会社

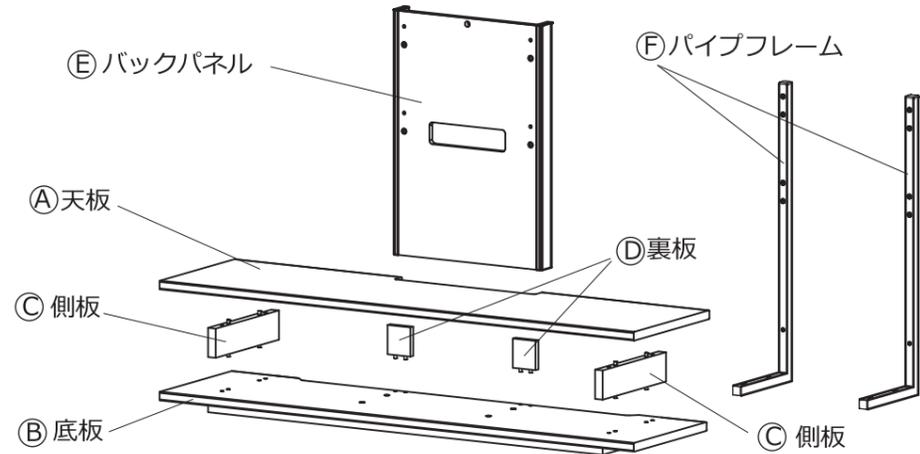
〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2
 ※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

【完成図】

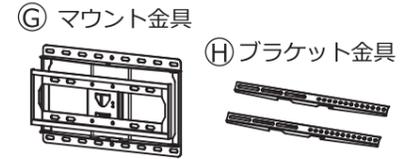


部品の確認

◎組み立て前に、全ての部品が揃っているかどうかお確かめください。



TVマウント金具セット



No.	部品図	部品名	数量
⑩		TV取付ボルト M6x15	4
⑪		TV取付ボルト M6x35	4
⑫		TV取付ボルト M6x40	4
⑬		ワッシャー	4
⑭		スペーサー	4

仕様

商品名	壁寄せテレビローボード
形名	RWB-S150A-O/W
外形寸法	幅1500 mm、奥行390 mm、高さ885 mm
製品質量	32.1 kg
耐荷重	30 kg

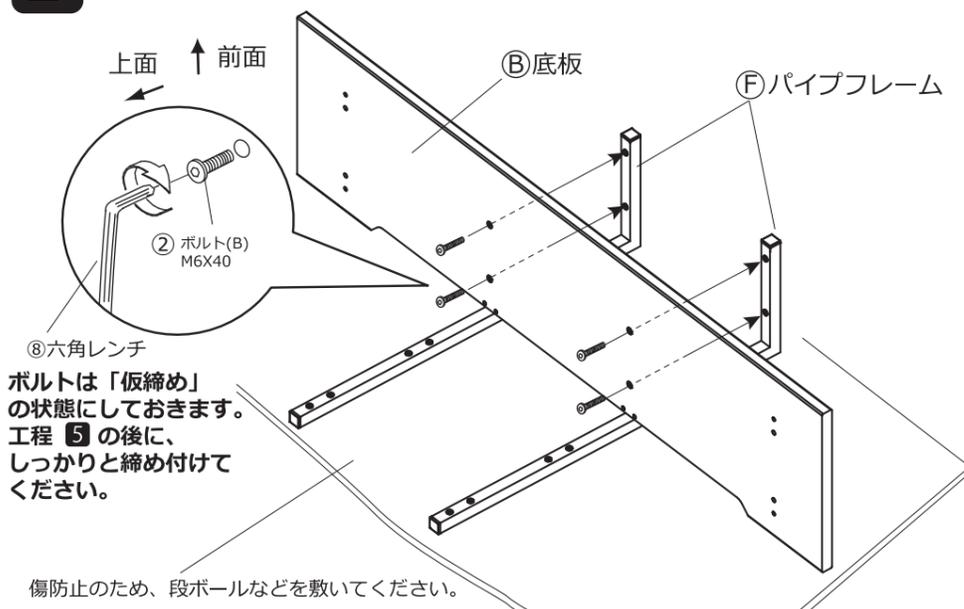
付属部品

No.	部品図	部品名	数量	No.	部品図	部品名	数量
①		ボルト(A) M6x120	4	⑥		ネジ隠しシール (白)	4
②		ボルト(B) M6x40	6	⑦		ネジ隠しシール (木目)	4
③		ボルト(C) M6x30	8	⑧		六角レンチ	1
④		ワッシャー	4	⑨		角度調整用 プラ・ワッシャー	6
⑤		クッション	14			転倒防止用ひも	1

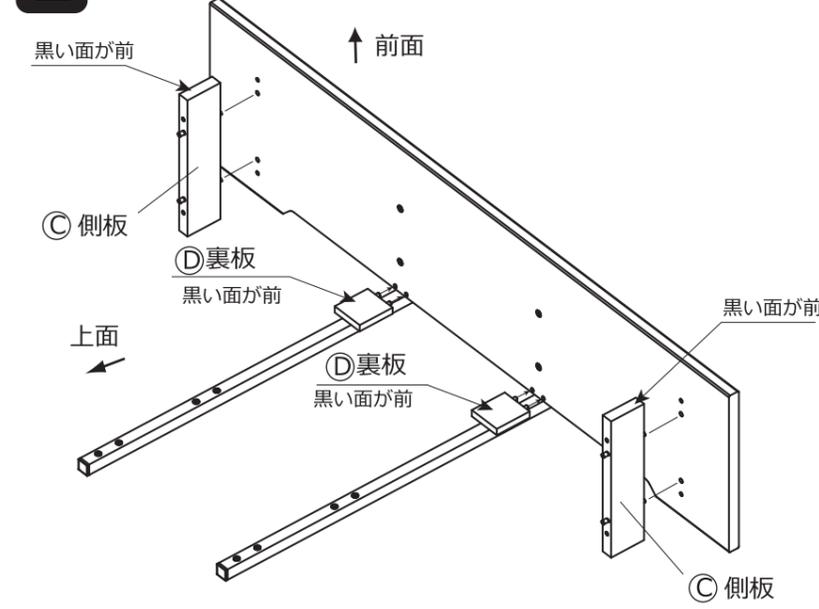
プラスドライバー(JIS 2番、直径6mm)をご用意ください。



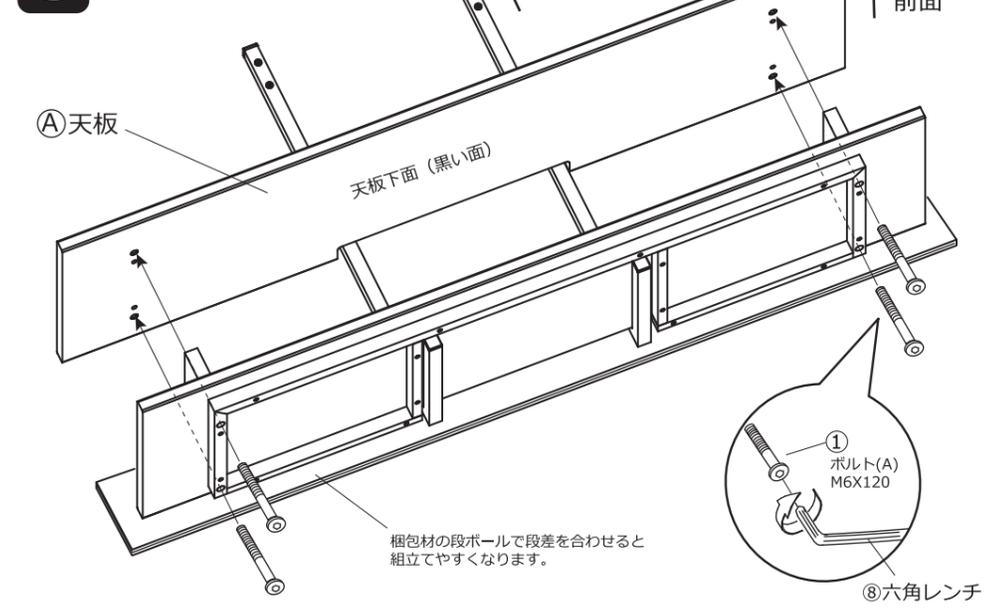
1 底板とパイプフレームの組み立て



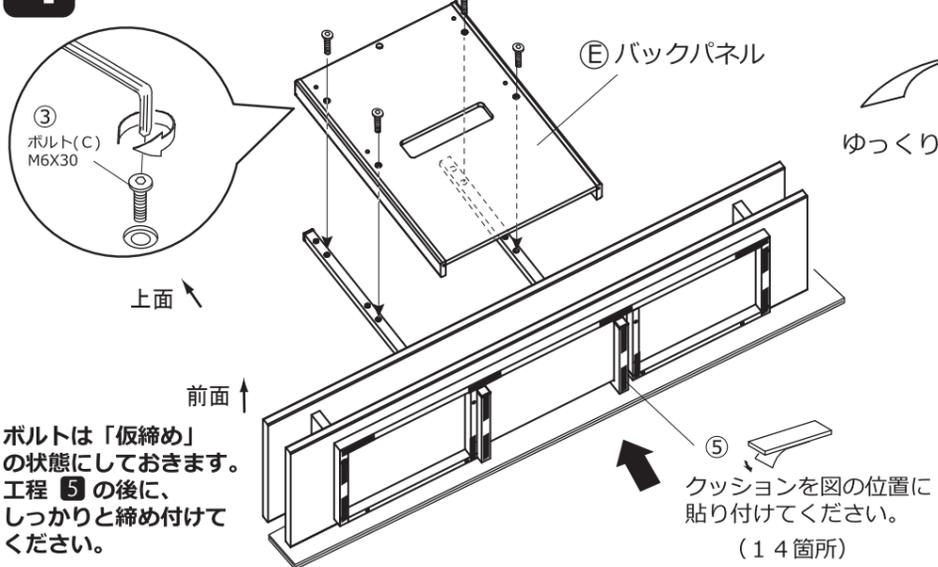
2 側板、裏板の組み立て



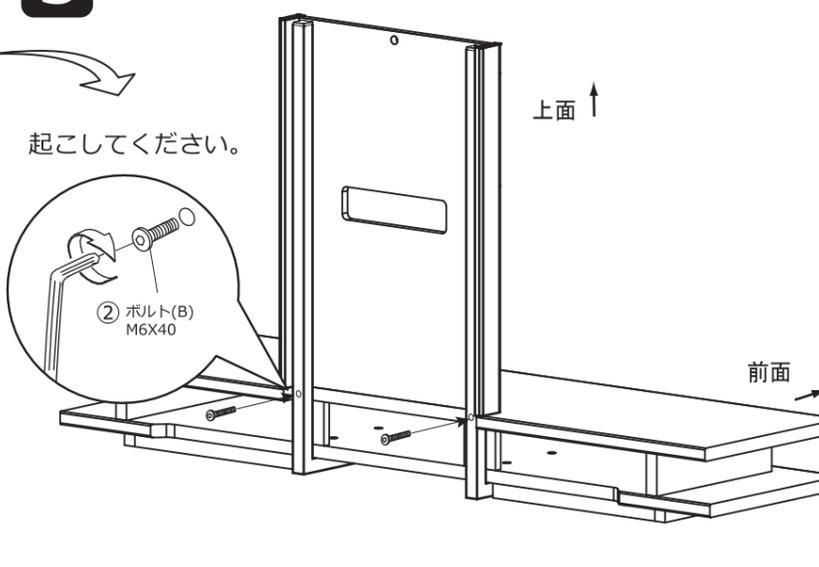
3 天板の組み立て



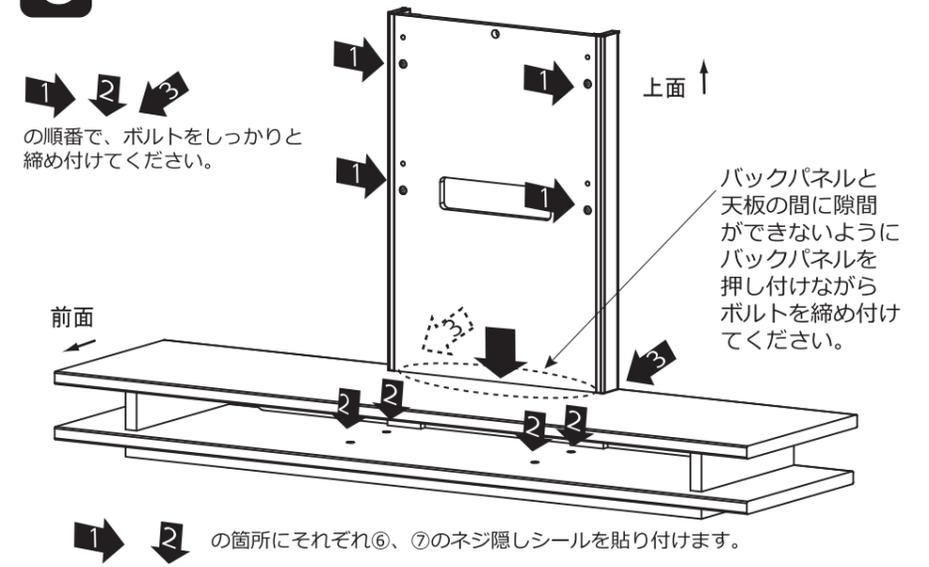
4 バックパネルの組み立て、クッションの貼り付け



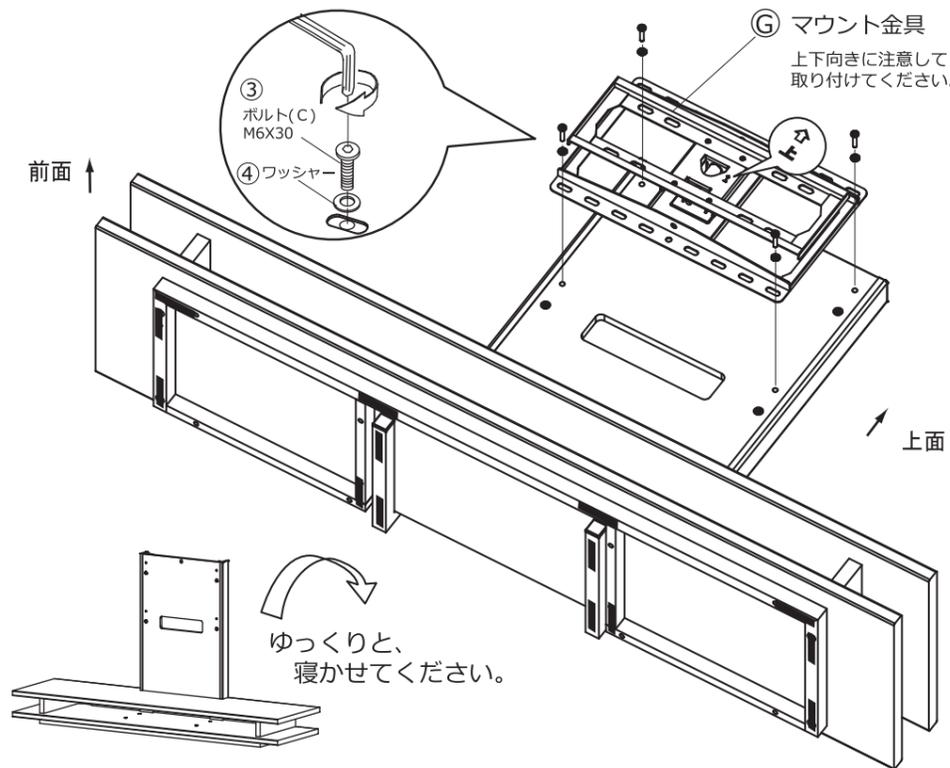
5 パイプフレームの固定



6 ボルトの本締め、ネジ隠しシールの取り付け



7 マウント金具の取り付け

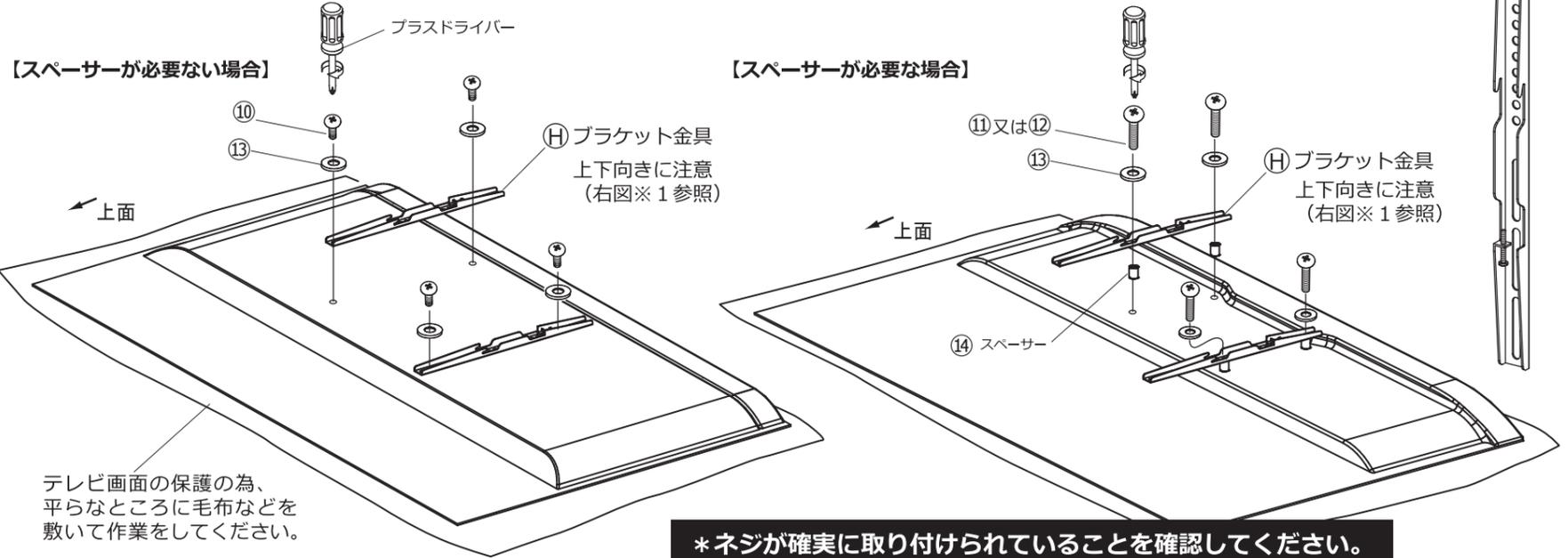


8 テレビへブラケット金具の取り付け

！ 指示 ■ テレビの設置時は、二人以上で、安全を確認しながら実施する
無理な作業をすると、テレビが落下し、けがやテレビ・床など
の破損の原因となります。

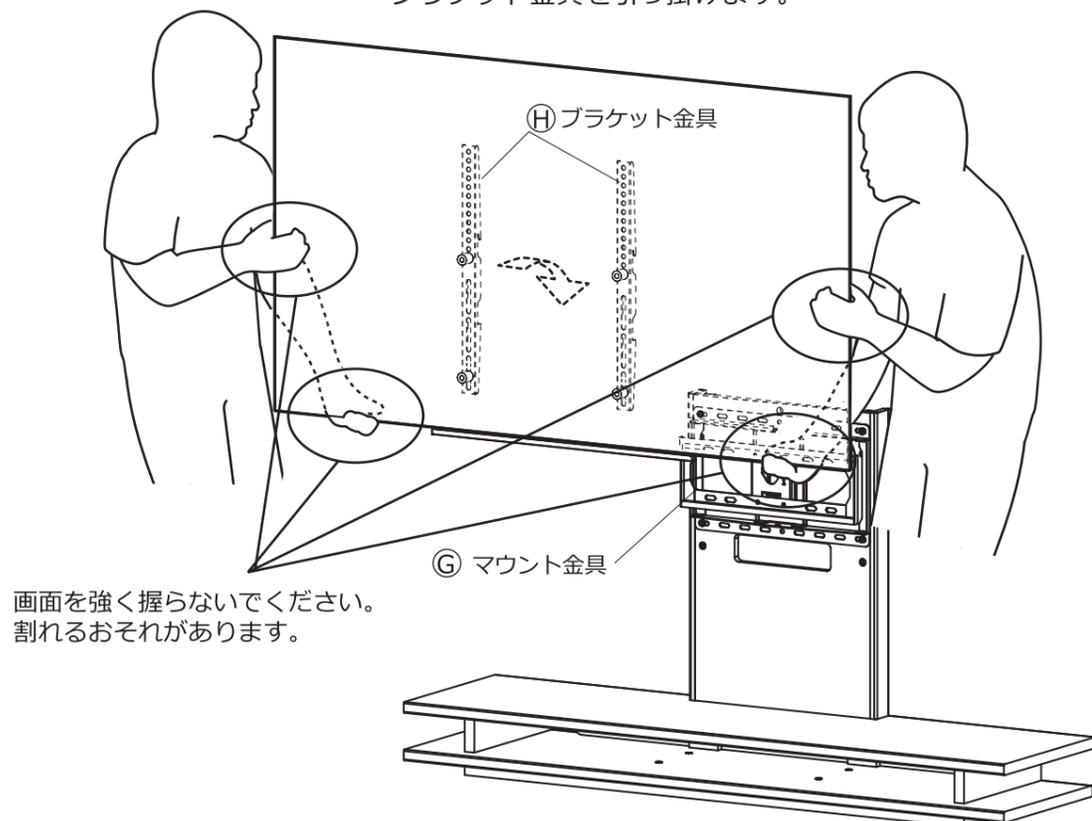
はじめに、ご使用のテレビ本体の「取扱説明書」をよくお読みになってから作業を進めてください。

テレビ背面の状態によって、使用するボルトが異なります。対応機種およびテレビ取付ボルトとスペーサーの組み合わせは
レグザホームページ (<https://www.toshiba.co.jp/regza>)のオプションでご確認ください。

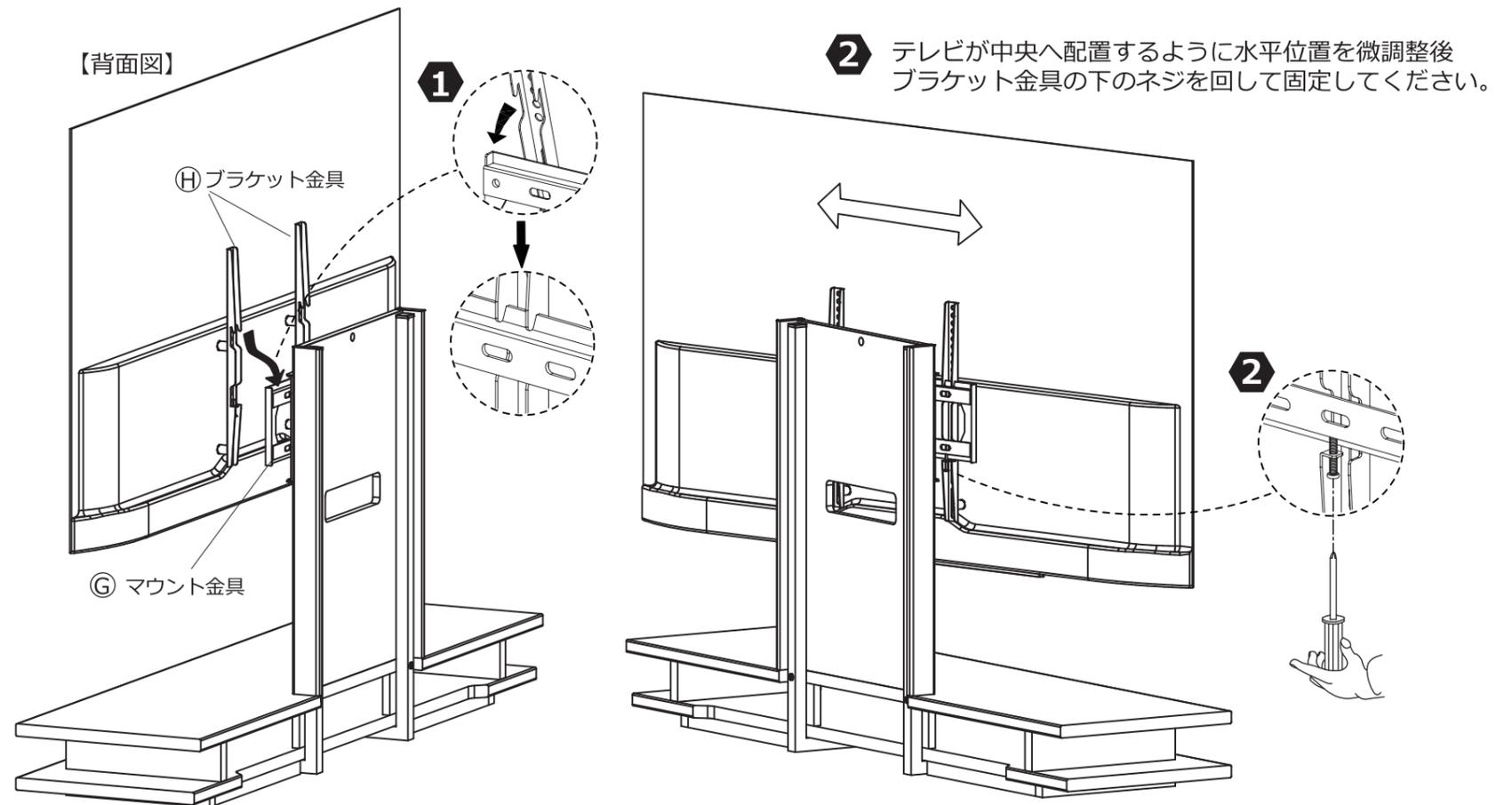


9 テレビのセット

① 本体のマウント金具に
ブラケット金具を引っ掛けます。

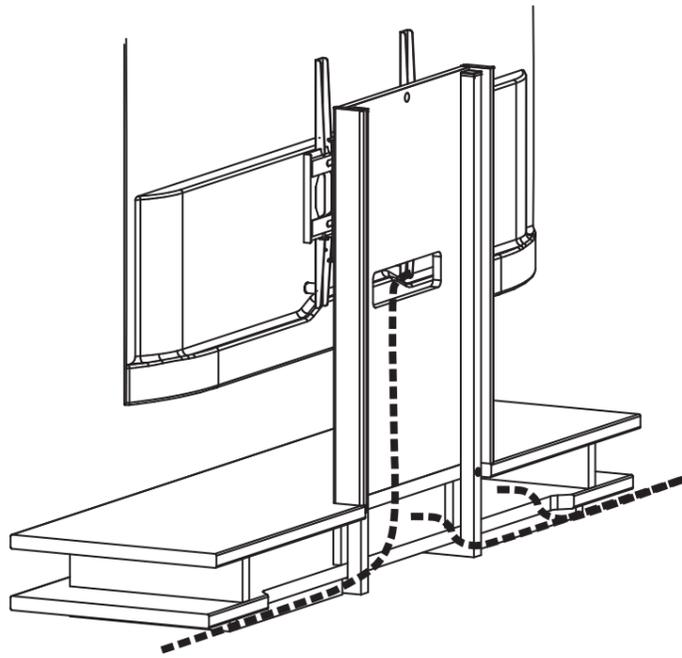


【背面図】



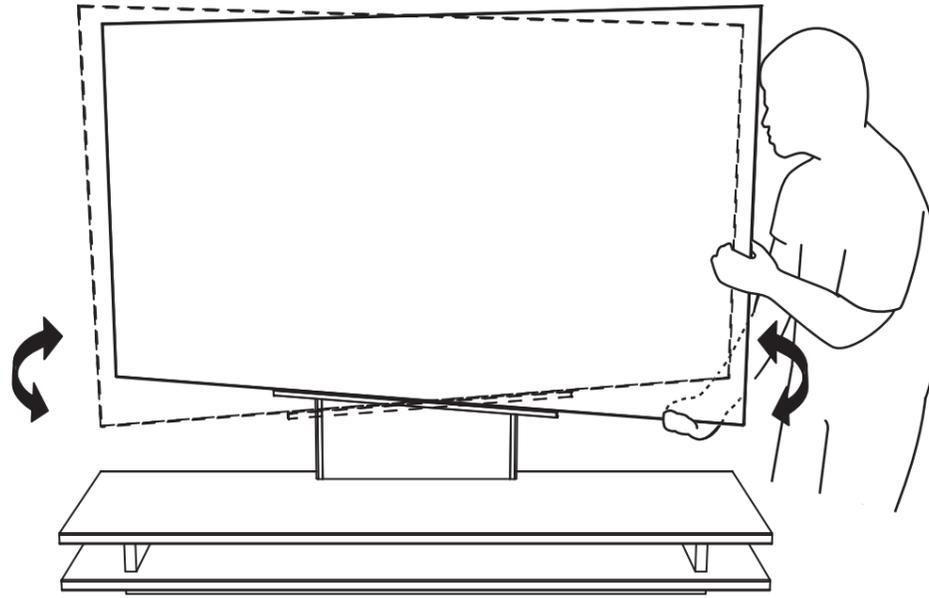
10 配線をするとき

本体背面側の穴や切欠形状は配線用です。
下図を参考に配線を行い、ご使用ください。



11 角度を調整するとき

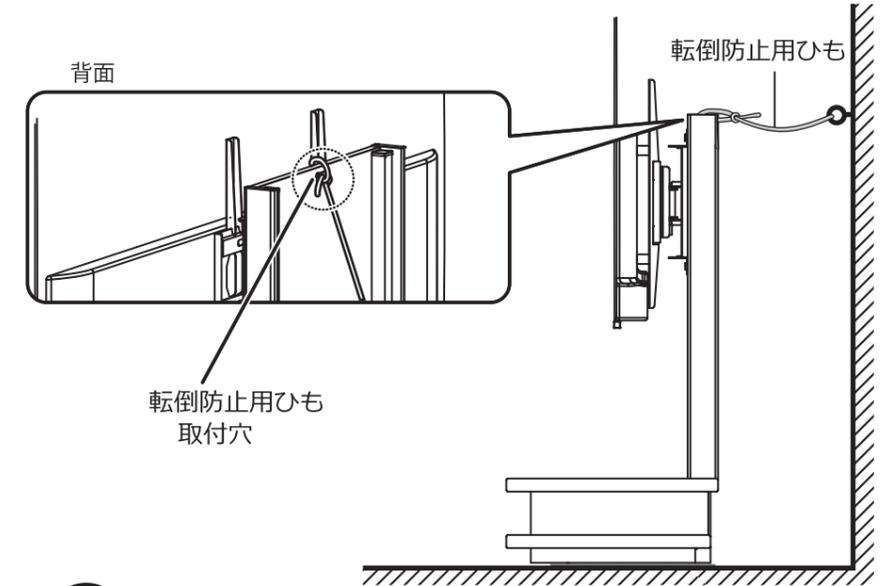
左右水平方向に約8°ずつテレビの向きが調整が可能です。
見やすい角度に調整してお使いください。



※無理な力を加えないで調整してください。
テレビ本体を無理に押し引きしたりすると、テレビが倒れたり、
破損したりすることがあります。
また、画面を押し引きしたり強く握ったりすると、画面が割れるおそれがあります。

12 転倒防止について

壁または柱などを利用して市販品の丈夫なひもで必ず固定してください。
※ 針金や鎖など金属製のものは、瞬間的な衝撃に対する柔軟性が乏しく、スタ
ンドや柱などの取付部分が破損する原因となるので使用しないでください。
転倒防止用ひも取付穴にひもを通し、壁や柱など確実に固定できる堅
牢部に取り付けてください。
壁寄せスタンドを移動させるときは、固定したひもをはずしてください。



指示

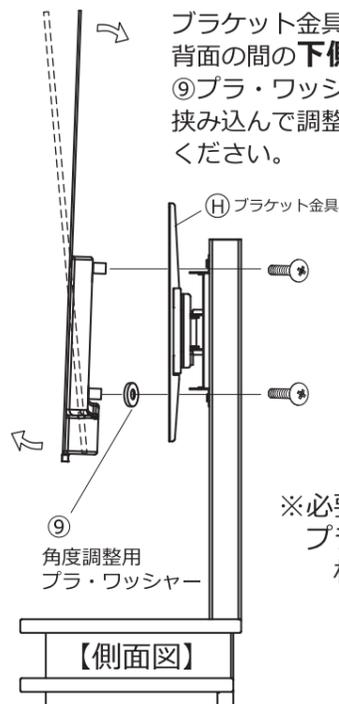
■ 転倒防止の処置をする
地震などでのテレビの転倒によるけがなどの危害を軽減するために
転倒防止の処置をしてください。

13 テレビの傾きの微調整の方法

工程、9の逆の手順でテレビを本体からはずしてください。

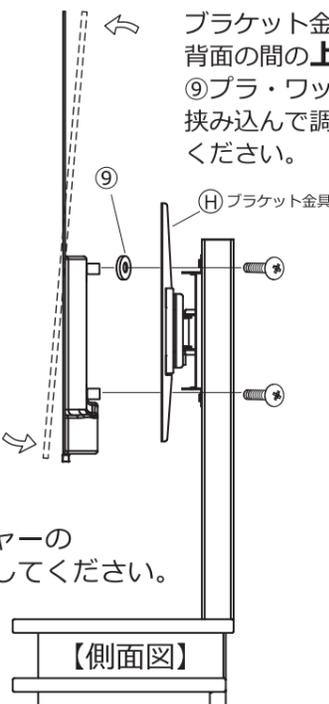
【前に傾いてしまった場合】

T V取付ボルトを緩めて、
ブラケット金具とテレビ
背面の間の下側に
⑨プラ・ワッシャーを
挟み込んで調整して
ください。



【後ろに傾いてしまった場合】

T V取付ボルトを緩めて、
ブラケット金具とテレビ
背面の間の上側に
⑨プラ・ワッシャーを
挟み込んで調整して
ください。

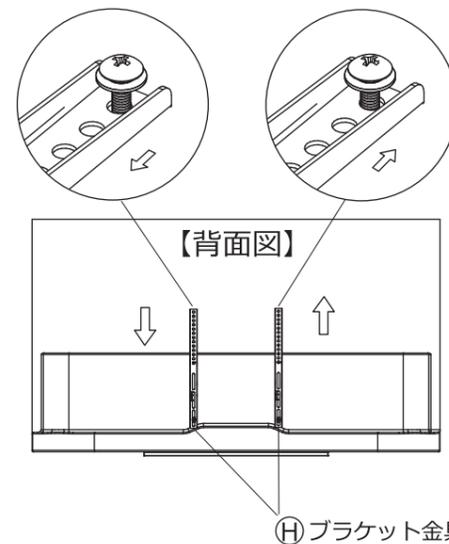


※必要に応じて
プラ・ワッシャーの
枚数を調節してください。

【右に傾いてしまった場合】

T V取付ボルトを緩めて、
ブラケット金具の位置を調整します。

背面から見て、
右のブラケット金具を上
左のブラケット金具を下
動かしてください。



【左に傾いてしまった場合】

T V取付ボルトを緩めて、
ブラケット金具の位置を調整します。

背面から見て、
右のブラケット金具を下
左のブラケット金具を上
動かしてください。

